

# 地域で 世界で 活躍できる人に グローバルな視野で英語教育を



オーストラリアの学校で授業に参加する研修生

毎年夏休みを利用して、オーストラリア南部の都市・アデレード市で9泊10日の海外研修。各自別々のホームステイ先が用意され、そこから現地の学校に通います。研修生たちは帰国後、「初日は緊張で話すことができなかったのが、意外とすぐに相手の言

## 海外研修

門真っ子がオーストラリアではばたいた



博物館でオーストラリアの歴史に触れました

うことが理解できるようになり、積極的に話さなければいけません。受け入れ校であるキャンベル校では、研修生一人ひとりにバディ（仲間）がつき、学校生活を共にします。放課後や休日は、ホームステイ先のファミリーと出かけたり、食事を楽しんだりして自由にオーストラリアの生



日本の文化を伝えるプログラムで、ふくわらいを現地の小学生と楽しむ様子

活を体験し、異文化に触れます。海外に出ることで、初めて日本のすばらしさを認識できる機会にもなっています。

中学生英語プレゼンテーションコンテストおよび海外派遣研修を実施するにあたり、さまざまな場面で多くの皆さんにご協力いただいています。特に、市教育委員会と連携協定を結んでいる関西外国語大学の教授と学生の皆さんに、毎年、コンテスト本番までの事前研修の支援をしていただいています。一人ひとりに寄り添い、親身になったアドバイスは、中学生たちにとって、プレゼンテーションがどのようなものか、人に理解してもらうためにはどうすべきかなどを考える機会となっています。このページでは、コンテストと海外派遣研修を支援していただいている皆さんに、お話を伺いました。

## 自分の考えを 英語で堂々と

関西外国語大学  
松宮新吾 教授



「めざせ世界へはばたけ事業」の最大の特徴は、プレゼンテーションという他に類のないユニークな選考方法だけでなく、半年間にわたる選考過程がすべて教育研修プログラムとして実施され、普通の学校での学びと直接リンクしているということです。グローバルな人材を育成するという社会の要請と、英語教育の質的向上を図るという教育施策が見事に合致したもののようです。

「門真市の中学生のプレゼンテーションに校長が涙を流した」と、オーストラリア交流校の副校長に聞きました。「ことば」が海を越え、人々の心を強く動かしているのです。めざせ世界へはばたけ事業に魂を吹き込んでいるのは、中学生の皆さんの「ことば」の力です。

これからも、「ことば」を自分や世界をより良く変えていくためのツールとして使うことができるように、一層磨きをかけてください。

## すばらしい取り組みですね

チャールズキャンベルカレッジ  
バルダ・オーケット 副校長



We have had the pleasure of hosting students from Kadoma for 5 years now, and always look forward to their visits. The highlights of the visits for our school and buddies are the presentations from the Kadoma students about their topics of interest. Their English is always excellent and topics are wonderfully varied. Sometimes we listen and laugh and sometimes we nearly cry when the topic is sad, but we are consistently impressed with the quality and dedication of the Japanese students.

(日本語訳)  
私たちは5年経った今も門真の生徒の受け入れをいつも楽しみにしています。特に、私たちに披露してくれるプレゼンテーションにはとても興味があります。彼らの英語はすばらしく、また、話題も驚くほどさまざまです。耳を傾けて笑うこともあります。悲しい話題の場合、泣いてしまうこともあります。しかし、生徒の積極的な姿勢にいつも感銘を受けています。

## 研修生たちの 成長ぶりに驚かされます

門真はすはな中学校  
脇田誠 教諭



この事業の強みは、何と言っても子どもたちの目を見張るほどの成長です。

1週間、オーストラリアの学校に通い、ホームステイを体験した後、帰りの空港では誰もが堂々と英語で夕食の注文をできるようになっています。

自信を身に付けて帰国した子どもたちは、英語学習において積極的に学習活動をけん引してくれたり、海外派遣研修の様子を全校集会で報告したりして、学校全体の英語学習の気運を高めてくれています。

OB・OGの中には、国際的な学科を持つ高校や大学に進学し、言語力を高めてグローバルに活躍したいという夢を抱いている子どもたちも多いでしょう。

すばらしい機会を与えていただいた門真市のためにできることを考え、後輩のために事前研修に協力してくれる人もたくさんいます。本事業のさらなる発展を期待します。

## 生活物資の供給などで協力体制 ～株式会社アカカベと～

市は、株式会社アカカベと「災害時における生活物資の供給等の協力に関する協定」を1月12日付けで締結しました。

この協定の締結によって、災害発生時に株式会社アカカベが



皆川友範・株式会社アカカベ代表取締役社長(右)と宮本一孝市長(左)

## 災害に備えて協定を締結しました

ら、調達可能な生活物資などを市に支援いただけることになりました。

### 応急復旧作業で協力体制

～門真市建設業協同組合と～  
市は、門真市建設業協同組合と「災害時における応急復旧作業に関する協定」を28年12月19日付けで締結しました。

この協定の締結によって、災害発生時における道路上や人命救助のための障害物の除去など、応急復旧作業に係る協力体制が整備されました。

市では、今後も災害に備え、多様な機関との協定締結を進めていきます。

問合せ 危機管理課  
☎06(6902)5812

### (仮称)門真市住宅・建築物耐震改修促進計画改定(案)

#### パブリックコメントを募集

市では、既存の建築物の耐震診断および耐震改修を計画的に促進するため、20年3月に、計画期間を27年度までとする「門真市住宅・建築物耐震改修促進計画」を策定しました。

今回、その後の建築物の耐震化を取り巻く社会動向を踏まえ、計画期間を28年度から37年度までとする計画の改定を行います。

改定にあたり、皆さんの意見を募集します。意見は、改定(案)に盛り込めるかを検討し、意見概要と意見に対する市の考え方を公表します。

※意見は原則公表。意見への直接回答は不可

素案の閲覧期間  
2月10日(金)～3月3日(金)

素案の閲覧場所 建築指導課

〒571-0505  
「門真市役所」建築指導課  
☎06(6902)6341  
FAX 06(6902)1466  
✉osof4@city.kadoma.osaka.jp

※郵送の場合は、3月3日(金)の消印有効

※電話での受け付けは不可  
提出・問合せ先

対象 市在住・在勤・在学の人  
市内に事業所がある団体

意見の提出方法 2月10日(金)～3月3日(金)に案件名、住所、氏名、電話番号を記入したものを(様式は自由)を郵送、FAX、メールまたは直接

市情報コーナー、南部市民センター、保健福祉センター、図書館本館、市民プラザ分館、市ホームページ